

あけびだより

No. 180

2019年10月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

2019年10月



絵画教室

長塚 茂氏

地域密着型通所介護

介護保険制度の改定により利用定員18人以下の小規模型デイサービスは、地域密着型通所介護となり、市町村が管轄する事となりました。「あけびの実」と「あけびの輪」は小規模デイサービスなのでこの区分に入っています。

改定の理由として・・・「地域との連携や運営の透明性を確保することを目的としている。」「地域単位で適正なサービス基盤の整備」「地域の実情に応じた指定基準、介護報酬の決定」等が、いわれています。地域の方を交えて半年に1回は地域連携会議を開催しなければなりません。

地域密着型サービスでは、利用者は「その地域の住民」が原則なのですが、「市町村の圏域を跨いで利用する場合は、手続きを取ることで他の市町村の事業所でも利用できる仕組みになっています。さらに隣接していない自治体間でも、同意が得られるのであれば、それぞれから指定を受けることもできる。」とされています。パーキンソン病患者を対象としているあけびには、姫路市外から、加古川市、高砂市、福崎町、たつの市、太子町、加西市、遠くは相生からもご家族の送迎のご協力を頂きながらご利用されています。

上記にある様に、ご利用されるには

- ① 区域外申請をしなければならない(各市町)
- ② 高齢者住宅等に入居の方は姫路市に住所を移さなければならない
- ③ 姫路市と各市町で合意しなければ申請は通らない
- ④ あけびの全利用人数の2割以下しか認められない
- ⑤ 申請を始めて約1~2カ月は介護保険外となり、自費利用となる

他市町の方はあけびのデイサービスを利用する場合、必ず利用できるかどうか不安なうえ、申請が下りるまでは自費利用となります。

地域密着型という介護保険制度は、パーキンソン病患者にとっては大きなハードルです。病気に特化したデイサービスなので遠くからでも来られます。病気に前向きに取り組まれる事で寝たきりを遅らせ、充実した療養生活が送れるのです。仲間の中で集う事の大切さ、お一人でも多くの神経難病の方がご利用しやすい環境になって欲しいと願っています。

S・I

認定特定非営利活動法人あけび

認定NPO法人あけび 事務局

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

グループリビングあけびの里

TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: info@akebi.or.jp

訪問看護ステーションあけび

TEL 079-262-6708 FAX 079-262-6703

訪問介護ステーションあけび

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: day@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL079-280-6931 FAX079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL079-284-0055 FAX079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけびの実

実の行事紹介

タコ



たこを頂きました！ゆでたてのプリプリ・・かぶりつきたいですねー。お昼にはたこ飯になってました



たこ焼きパーティをしました。言語聴覚士さん親子がボランティアで参加して下さいました。小学4年と1年の姉妹は折り紙が得意で利用者の方にプレゼントだそうです。大人の手ではなかなか折れないような小さな作品で驚きました

防災訓練



社交ダンスクラブ

防災訓練をおこないました。地震ので台所から火が出たという設定です。最近の災害を見ていると自分自身の所におこるか分かりませんね。生まれて初めての経験と言う方も多くありました。そんな怖さがあります。訓練は侮れません

社交ダンス部健在です。

誕生会



誕生日会でゴルフ大会をしました。優勝者は誕生日の主役の方でした。おめでとうございます！

手作業

作品づくり



西播磨リハビリテーションに展示するために1ヵ月で仕上げるため急ピッチで作成中です。

「その実としその葉に分けてゆ煮やぶりかけにしました。芋のつるは炒め煮です。食べられるまでの作業も皆ですれば楽しいですね。」

輪の行事紹介

リハビリ

あけびの輪



☆リハビリいろいろ
輪の一日は、“I can! I will! I must!” の大合唱からスタートします。



☆「なごま新聞」第33号が発行されました。95歳の編集長を中心に、4名の編集部員さんが、真剣勝負で編集作業に当たっておられます。どうぞ、じっくりご覧になってください!

誕生会



交流



☆大阪からお客さまがおみえになり、交流を持ちました。フットケアもしていただきました。



☆誕生会part1
手作りピザパーティーをしました。力いっぱい生地を打ち、寝かせて成形しトッピングなど全ての工程を利用者様にさせていただきました。美味しいピザが出来上がりました



☆誕生会part2
ボランティアさんによりオカリナ演奏、読み聞かせ、手遊び、合唱をご覧になりました。皆さま、童心に戻って遊ばれました。あー楽しかった!!



木下素子氏

製作活動

☆作品展に向けて、制作に熱が入っています!



はん消し教室



あけびの輪

ボランティア



☆毎月一回、ボランティアさんにハンドマッサージをしていただきます。優雅なリラクゼーションタイムです



☆消しゴムハンゴ
消しゴムを彫刻刀で掘って版を作り、色とりどりにスタンプすると、素敵な秋の景色が出来ます。皆さん仕上がりに満足されました

グループリビングあけびの里

訪問看護ステーションあけび

訪問介護ステーションあけび



【輪にて】



【実にて】



藍野大学の岩佐先生の看護研究協力の一環で、看護師との話し合いの場がありました。事前アンケートで、パーキンソン病の看護の観察・アセスメント項目として、服薬・痛み・姿勢・便秘・嚥下など約20項目が上がり、看護師9名を2グループに分けて話し合いました。色々な意見が出たのは勿論ですが、皆が、疾患・症状・患者様の苦痛や悩みに熱意をもって向き合っていて軽い感動を感じました。

より一層、疾患や薬の理解を深めたいと思い、先日、パーキンソン病の講演会に出席してきました。演者の藤田医科大学病院の渡邊教授は、「パーキンソン病をよくする治療が出来ていて、4~5年先はそれが見え隠れするから希望を持ちましょう！」と。獨協大学看護学部の山下先生はパーキンソン病看護の本を出版されています。「一緒にパーキンソン病看護を確立させましょう！！」と声掛けてくださり、あけびにとって強い味方がまた一人増えたように思いました。

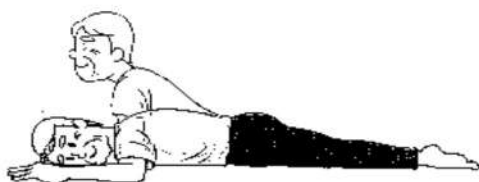
参考

姿勢矯正
何回分
紹介

ストレッチ⑤

目的 肩甲骨の動きを良くする

背中をそらしませす



パーキンソン病では前かがみの姿勢になりやすいので、今のうちから姿勢を意識して運動を行います。うつぶせになって腰とお腹を伸ばしましょう。余裕のある人は肘をついて上体をそらせます。仰向けでは膝の下に枕を置き、両腕をよく伸ばすことでストレッチできます。お尻が浮かないように気をつけましょう。



お尻を浮かさない

筋力アップ①

目的 足指の力を強くする

太ももをトレーニングします



肩幅に脚を開いて膝の前で手を交差させ、3秒かけて腰を落とし、3秒間静止して、3秒かけて立ち上がります。

1回ずついいねいに行いましょう。合計10回が目安ですが、それだけやると太ももがプルプルふるえてくるかもしれません。



お知らせ

パーキンソン病友の会
兵庫県支部姫路ブロック

患者・家族交流会

- ◆10月交流会 休みです
- ◆11月交流会11月17日(日)13:00~
場所：あけびの実

- ◆10月5日(土) 13:00~姫路市難病相談会
場所：イーグレ姫路4階tel079-289-1635
中央病院 東 靖人 医師

- ◆10月20日(日)
第6回近畿ブロック卓球交流大会
場所：しあわせの村 体育館

- ◆10月8日(火) 卓球練習 花北体育館
tel079-280-6931



卓球クラブ」10月の練習日
10月1日(火)10月15日(火)
場所：ルネス花北体育館
持物：上靴・ラケット
連絡は(280-6931)



田中千満氏



寺下典子氏



橋本幸子氏



菊池武明氏